

▶ 主な業務内容



▶ 仕事の魅力



▶ 直近の採用実績等(一般職大卒程度)

R4	R5	R6	R7	R8
1	1	0	1	1(予定)

- ◆ 採用されたら、総務省本省等での研修後、上記の行政相談業務や調査業務などを担当します。
当事務所での勤務を主として、希望や適性に応じて、本省各部局、他管区行政評価局等で勤務することもあります。

- ◆ 政策担当府省とは異なる立場で政策効果の把握・分析を行い、各府省自身では気づくことができない政策の設計上・運営上の課題を摘示することで政策の改善・推進を促す業務です。

調査の概要、種類、流れなどは以下のURLから確認できます。

https://www.soumu.go.jp/kanku/okinawa/okina_wa_03_03.html

- ◆ 各府省自身では気づかない制度設計や運用の問題について、国民の声を直接聞いて、個々の事案の解決を図るとともに、政策の改善・推進に資する情報を提供する業務です。

行政相談では、医療保険・年金、道路、社会福祉など幅広い行政分野の相談に対応しています。

詳しくは以下のURLから確認できます。

https://www.soumu.go.jp/kanku/okinawa/okina_wa_03_01.html

- ◆ 「おかしい」と思うことを、「おかしい」と言える仕事です。
行政の仕組みや業務のやり方の「おかしい」ところについて、その業務に関係している行政機関に対して見直しを求め、行政運営の改善に役立てます。

- ◆ 国民に寄り添う仕事です。

行政相談では、事実関係等を確認して、国民の苦情の解決や要望の実現に関わることができます。

若手職員からのメッセージなどは以下のURLから確認できます。

https://www.soumu.go.jp/kanku/okinawa/02kanku_09_03000009.html



住所:〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち2-1-1
那覇第2地方合同庁舎第1号館4階

HP: <https://www.soumu.go.jp/kanku/okinawa.html>

☎: (098) 866-0145(総務課)

安全・安心な情報通信環境で、美(ちゅ)ら島うちなーの 生活を支える明るい未来

沖縄総合通信事務所は、総務省の地方支分部局である総合通信局等のひとつとして、
沖縄県内における**情報通信行政**に取り組んでいます。

職場のPR

- ・職員数は、約40名。(うち女性職員10名)アットホームで風通しのよい職場です。
- ・ここ数年は毎年1名～2名採用しており、年齢構成が若返ってきています。
- ・令和6年11月に、那覇市おもろまちの合同庁舎に移転しました。きれいな職場です。

採用後は

- ・採用後は情報通信政策研究所(東京都)で約1ヶ月間の新規科研修があります。
- ・担当業務に応じた専門研修も充実していますので、基礎知識が無くても安心して働けます。
- ・なお、採用3年目に2年間の本省(霞が関)勤務があります。

採用実績

- ・国家公務員一般職:大卒程度
- ・R4年度 行政沖縄(2)
- ・R5年度 行政沖縄(2)
- ・R6年度 行政沖縄(1)
- ・R7年度 デジタル・電気・電子(1)
- ・R8年度 行政沖縄(1)



<先輩からのメッセージ

最初は何をしている職場なのかよく理解しておらず不安でしたが様々な研修や上司先輩が親身に指導してくれ安心して働けています。(R4.10月採用)

文理問わず様々な方が活躍している職場です。電波やICTに興味のある方、ぜひ説明会に参加してみてください！(R4.10月採用)

通信という重要で興味深い分野に関わることと、優しい職員の方々の雰囲気が魅力の職場です。一緒に働ける日を楽しみにしています。(R3.10月採用)

電波に関する知識がなくても、先輩方が丁寧に教えてくれるので心配ありません。みなさんと働ける日を楽しみにしています！(R4.4月採用)

社会に欠かせない業務であることを実感でき、やりがいを感じます。ワークライフバランスも文句なしでオススメの職場です！(H30.10月採用)

子育て真っ最中ですが、周りの理解もあり制度(休暇等)もしっかりしているので、働きやすい職場だと感じています。(H28.10月採用)

無線局の許認可等、専門性が高い業務もありますが相談しやすい環境なので一人で抱えこむことはない職場だと思います。(H28.10月採用)

先輩に聞いた！関連ワード

沖縄の通信環境を守る

航空無線



テレビ・ラジオ・携帯電話



船舶無線



電波監視



生活をより豊かに

非常災害時の通信確保

地域情報化推進

5G ICT・IoT

医療・教育・情報格差是正

サイバーセキュリティ

【問い合わせ先】

総務省沖縄総合通信事務所 総務課 職員係

〒900-8795

沖縄県那覇市おもろまち2-1-1

那覇第2地方合同庁舎3号館4階

TEL: 098-865-2301

HP: <http://www.soumu.go.jp/soutsu/okinawa>



～ 情報通信に興味があり、積極的な方を求めています～



法務省 在沖縄少年矯正施設



【少年矯正施設ってどんなところ？】

沖縄県には、**沖縄少年院**・**沖縄女子学園**・ **那霸少年鑑別所**の三つの施設があります。

【どんなことをしているの？】

沖縄少年院及び**沖縄女子学園**は、家庭裁判所の決定により保護処分として送致されたおおむね12歳から20歳までの少年(特定少年)を収容します。少年の特性に応じた適切な矯正教育を行うことにより、改善更生と円滑な社会復帰を図っています。少年院では、規律正しい生活の下で、生活指導、職業指導、教科指導などの教育・訓練を行うとともに、保護者等への働き掛けも行っています。また、関係機関と連携し、就労・修学の支援など社会復帰支援を実施し、少年が出院した後は、出院者やその保護者等からの相談にも応じています。

那霸少年鑑別所は、非行のある少年を家庭裁判所の決定に基づいて収容し、心理学、医学等の専門知識等を活用し、その少年の非行の原因を解明し、今後の指導・教育の方針を見出す専門機関です。また、「波之上こころの相談所」を併設し、子どもの問題でお悩みの一般の方からの相談も受け付けています。

【採用されたらどうなるの？】

採用後は、主として少年院では教育・支援部門、少年鑑別所では鑑別部門に配属され、少年の処遇に当たります。研修制度として、矯正研修所において、採用1年目に2~3か月間程度、5年目に専門性を高めるため3か月程度の集合研修があります。さらに、昇任試験に合格し、6か月程度の研修を受講することなどにより、幹部職員としての道がひらけます。



採用試験（法務省専門職員（人間科学））

〒900-0036 那霸市西3-14-20

【連絡先】

については、**那霸少年鑑別所**まで御連絡ください。

那霸少年鑑別所庶務課 TEL(098)862-4606

【試験区分】

法務省専門職員（人間科学）採用試験

区分:矯正心理専門職

(心理Aは男子、Bは女子)

法務教官

(Aは男子、Bは女子)



【採用状況】

☆**沖縄少年院**(教官A)

平成29年度1名、令和5年度1名、令和6年度2名

☆**沖縄女子学園**(教官B)

令和4年度1名、令和5年度1名、令和7年度2名

☆**那霸少年鑑別所**

令和2年度1名(教官B)、令和5年度1名(心理A)

令和6年度1名(教官B)

【求める人材】

心理専門職、法務教官とともに、少年だけでなく様々な関係機関の方々と接して再犯・再非行防止の支援に携わります。人を理解しようとする共感力や豊かなコミュニケーションを取り、行動力を発揮する人材を求めていきます。

【職場の魅力・PR】

私たち法務教官・法務技官は、少年院や少年鑑別所に入った少年少女の一番近くにいる応援団です。彼らの可能性を発掘し、それを伸ばして将来の力にしてほしい。その思いが、日々彼らと向き合う私たちの挑戦と情熱のエネルギーです。一人一人に合わせた応援の仕方を日々考えながら、私たちも成長していきます。彼らが社会復帰したあとも、再非行せずに生きていくための教育・支援を行います。ときに笑い、涙し、迷いながらも、力一杯応援します。

【1年目職員からの一言】

非行をした少年と一緒に、過去、現在、未来について真剣に考え、向き合う仕事です。反省ばかりの毎日ですが、少年とともに、私も成長できていると実感しています。



世界をつなぐ。未来をつくる。

出入国在留管理庁

Immigration Services Agency



福岡出入国在留管理局那覇支局

出入国在留管理庁 について

出入国在留管理行政に携わる職員は、全国で6,499人（令和7年度末）います。

○入国審査官

全国で3,988人が空海港における出入国審査業務や在留審査業務等に従事しています。

○法務事務官・法務技官

全国で824人が、一般事務を行う法務事務官や医師・看護師等の法務技官として勤務しています。

主な業務内容

- ♦**出入（帰）国の管理**・・・日本へ上陸しようとする外国人に対する入国の審査や出国時の確認及び日本人の出帰国の手続を行っています。
- ♦**在留管理**・・・日本に住んでいる外国人の在留管理を行っています。（在留資格の変更、在留期間の更新等の審査）
- ♦**受入れ環境整備**・・・外国人との共生社会の実現に向け、相談窓口の設置及び地方公共団体との連携・協力を図っています。
- ♦**難民の認定**・・・外国人から難民認定申請があった場合に、難民条約上の難民に該当するか否か審査を行っています。
- ♦**退去強制**・・・不法残留や不法入国等を行う外国人を法令に基づき国外へ退去させる手続きを行っています。

先輩からのメッセージ

入管といえば、空港での審査業務をイメージする人が多いと思いますが、実際には幅広い業務があります。

私は、特定技能という在留資格に関する届出の処理や実態調査の業務を担当しています。実態調査では実際に外国人の就業場所へ訪問し、仕事や生活についてのアンケート調査を行っています。また、窓口業務や、クルーズ船が来たときには入国審査をすることもあり、自分の担当に限らず、さまざまな業務に携わることができます。

入管の業務は日本の治安維持を支える重要な役割を担っており、難しさを感じることもありますが、周りの先輩職員や上司の方が優しく教えてくださるので、日々学びながら業務に励んでいます。

入管の仕事に興味を持ってくださった皆さんと一緒に働く日を楽しみにしています！

K.M R7年度採用 一般職（大卒程度）行政沖縄

採用されたら

○法務事務官として一般事務に従事後、入国審査官へ昇任し、審査業務等に従事します。

○異動・勤務地

多様な業務に精通するため、那覇支局内の各部署（総務課・審査部門・警備部門・那覇空港出張所・嘉手納出張所・宮古島出張所・石垣港出張所）や、那覇支局外の勤務地を2~3年ごとに異動し、経験を積みます。

能力や希望によって中央官庁、他省庁及び大使館等の在外公館での勤務も可能です。

採用状況	R7年度	R6年度	R5年度
大卒程度	7名	7名	2名
高卒者	3名	7名	-

福岡出入国在留管理局那覇支局総務課総務係
〒900-0022 那覇市樋川1-15-15
☎098-832-4185

入管HPはこちらから！



財務省 沖縄地区税関

税関の3つの使命

・安心・安全な社会の実現

銃器・不正薬物等の密輸を阻止するとともに、我が国におけるテロ行為を未然に防止することにより「世界一安全な国、日本」を構築。

・適正かつ公平な関税等を徴収

約13.1兆円すなわち国税収入の約16.9%に相当する額を徴収する歳入官庁として、適正かつ公平に税等を徴収

・貿易の円滑化を進める

国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、民間企業との協力やIT化の推進などを通じ、通関手続を一層迅速化

職場の魅力・PR

・密輸取締、輸出入貨物の通関、関税に関する調査など幅広い業務を行っており、2~3年サイクルの人事異動で様々な経験を積むことができます。仕事以外にも野球・サッカー・テニスなどサークル活動も行われており、全国大会を開催するサークルもあります。

センパイの声

検査のために初めて乗船した際、貿易船・クルーズ船問わず、今まで知らなかった世界に足を踏み入れたような高揚感を今でも鮮明に覚えています。税関には、そうした未知の世界がたくさん広がっており、「安全・安心な社会の実現」という使命の一つをとっても多様な業務分野からのアプローチがあるため非常にやりがいのある仕事です。あなたも自分なりのアプローチを税関で見つけてみませんか。

代表的な勤務サイクル

月 当直	9:00~	クルーズ船対応・検査
火 非番	~9:00	郵便物の検査
水 休み		家族でお出かけ・趣味
木 当直	9:00~	船内検査・窓口業務
金 非番	~9:00	郵便物の検査
土 日 休	8:30~17:00	陸上巡回
日 当直	9:00~	外国貿易船の検査・張込



平成28年採用
一般職（高卒者）
U.Yさん



採用状況（一般職）

令和7年

【大卒程度】12名

【高卒程度】6名

令和6年

【大卒程度】15名

【高卒程度】4名

令和5年

【大卒程度】9名

【高卒程度】2名

沖縄地区税関人事課

〒900-0006

住所：沖縄県那覇市おもろまち2-1-1

那覇第2地方合同庁舎3号館

TEL：098-996-5514

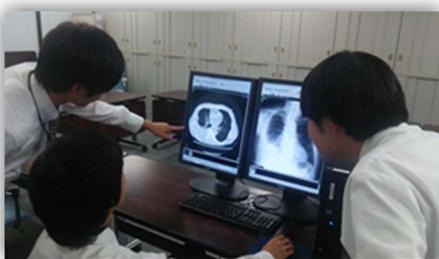
FAX：098-996-5518

HP：<https://www.customs.go.jp/okinawa/>



沖縄労働局

～「働く」ことのために働く～



«労働基準部門»

労働基準法などの法令に基づき、長時間労働の抑制、賃金の確実な支払い、不適切な解雇の防止、労働災害の防止などを推進しています。また、仕事中や通勤中のケガなど、労働災害に遭われた方やその遺族に対して、労災保険給付を行っています。

«雇用環境・均等部門»

働きやすい雇用環境を実現するため、男女雇用機会均等法や育児・介護休業法等の法律、制度の周知、事業主への指導、相談受付、紛争解決援助などを通じて、「働き方改革」と「女性活躍の推進」の一体的な取組の支援・職場環境整備を推進しています。

«職業安定部門»

仕事を探している人と働く人材を求める人を結びつける職業相談・職業紹介、労働者が失業した場合の失業等給付の支給、障害者・高齢者などの就職促進など、全ての人々がその能力を最大限に発揮して働くようにするとともに、人材を求める企業のニーズに応えることなどを目指します。

«人材開発部門»

全ての人々が能力を高め、各自に適した仕事に就けるよう支援を図る部門です。

職業能力の開発・向上に向けた支援を通じて、働く人の未来への挑戦にしっかりと寄り添うことで、全ての人が持てる能力を存分に発揮し、いきいきと働くことのできる社会の実現を目指します。

◎ 採用状況・試験区分

「一般職試験」の他、「労働基準監督官試験」からの労働基準監督官の採用を行っています。労働基準監督官試験の詳細については厚生労働省ホームページをご覧下さい。

試験種別・試験年度	令和5年度試験	令和6年度試験	令和7年度試験
一般職（大卒程度）	2（1）	8（6）	10（8）
一般職（高卒程度）	1（1）	0（0）	0（0）

※試験年度別。（）はうち女性、労働基準監督官は含みません。（R7.12月現在、内定者含む）

◎ 人事異動

沖縄県内の労働局、ハローワーク、労働基準監督署に2年単位で配属されます。原則、県外転勤なしです。

～先輩からのメッセージ～

労働行政は労働者が安心して働くことができる環境を整備するため、多岐にわたる業務を担っています。「労働」という生活の根幹を支えていることが他の仕事にはない魅力です。また、私は労働局の職場環境も大きな魅力だと思います。新人職員のためのセンター制度があり、業務上の相談やそれ以外の雑談の機会にもなっています。難しい業務や初めての業務でも上司や先輩職員を頼って取り組める職場ですので、ぜひ皆さんとも労働局で働くことを願っております。（令和7年度採用・一般職大卒）

1日のスケジュール

8:30	始業
9:00	事務や窓口対応
12:00	昼休憩
13:00	事務や窓口対応
17:15	終業



【連絡先】〒900-0006

那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎1号館（4階）

沖縄労働局総務部総務課人事係（TEL098-868-4003）

<https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/home.html>



守ります 人と自然とこの地球

気象庁 沖縄気象台

●こんな仕事をしています

仕事内容 気象庁は、大雨や暴風、地震と津波、火山噴火などの自然現象を常時監視するとともに、気象、地震、津波、火山活動などに関する情報を発表しています。気象庁が発表する情報は、自然災害から国民の生命・財産を守るために防災気象情報のほか、交通の安全を支援する交通安全情報、農業、電力、観光など各種産業活動を支援する産業情報、国民の日常生活に役立つ生活情報、さらには人類の将来に警鐘を鳴らす地球温暖化など地球環境に関する情報などがあり、多方面で多様な役割を果たしています。

組織 気象庁は国土交通省の外局です。中枢機関として、東京に気象庁（本庁）があり、地方支分部局の一つとして那覇市に沖縄気象台があります。沖縄気象台の下部組織として、宮古島・石垣島・南大東島に地方気象台、那覇空港に測候所があり、沖縄管内の職員数は、約210名です。

●主な試験区分～採用実績～

試験区分	R5年度	R6年度	R7年度
行政	3名(2)	2名(1)	4名(2)
物理	78名(13)	65名(15)	56名(10)
化学	15名(3)	14名(6)	12名(8)
デジタル・電気・電子	4名(0)	5名(1)	6名(1)
土木	4名(2)	11名(2)	12名(0)

その他試験区分 <一般職試験（大卒程度）>

農業農村工学【R7年度1名（1）採用】
農学【R7年度9名（3）採用】
林学【R7年度3名（1）採用】
教養



気象庁マスコット「はれるん」

※教養区分はR8年度より採用開始
※技術系は全国採用、事務系は沖縄管内採用
※（ ）は女性の内数

●採用されたら

配属先

技術系区分は、全国の気象官署に配属されます。
行政区区分は基本的に沖縄管内への配属となります。

業務内容

技術区分の採用者
⇒観測予報業務、地震火山業務、地域防災業務に従事
行政区区分の採用者
⇒総務部門の総務、人事、福利厚生、会計事務に従事

研修

採用直後に人事院主催の新採用職員研修や気象大学校（千葉県柏市）の初任職員研修を受講します。その後、経験を積むと専門の研修を受けることができます。

異動

概ね3年を目処に沖縄気象台及び県内各出先機関を基本として異動します。その他、気象庁本庁又は全国の気象官署へ異動することもあります。

●職場の魅力PR

私たちは、台風や集中豪雨、地震や津波等に対する防災気象情報や天気予報等といった、日々の生活に欠くことのできない情報を発表しています。この発信する情報が国民生活に大きく影響を及ぼすことを常に意識し、住民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などを実現することを任務とし緊張感と責任感を持って日々業務を行っています。また、正確な情報を提供するために、職員がチームで調査研究も行っており、その研究成果を発表する機会もあります。日々の業務もチームで交替制により行われますが、緊張感の中にもアットホームな雰囲気のある職場です。業務外では、野球、テニス、バドミントン、マラソンなどのスポーツを楽しんでいます。

●先輩からのメッセージ

私は気候変動や異常気象により、困難な状況になる人々の力になりたいと思い、気象庁を志望しました。

気象庁というと天気予報をイメージする方が多いと思いますが、実際の業務内容は多岐にわたります。私の所属する観測整備課では、観測機器の不具合を防ぐために保守や点検を行い、障害が発生した場合は速やかに対応しています。観測機器によって得られたデータは、あらゆる分野で利用されているため、正確なデータを提供できるように心がけています。

私は気象の知識があまり無い状態で入庁し、不安なこともありました。先輩方や上司の方々がやさしくサポートしてくださるので、安心して業務に取り組んでいます。また、私は農業を勉強していたので、農業に関わる気象の勉強会に参加するなど、学んだことを活かす機会もありました。

気象庁は経験できる業務や勤務地も多いので、やりたいことを見つけていけると思います。さらに、必要な知識は入庁してから身につけることができます。少しでも気象に興味がありましたら、ぜひ官庁訪問にお越しください。心よりお待ちしております。（令和7年4月採用一般職農学K.A）

●連絡先

〒900-8517 沖縄県那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎3号館 8階
沖縄気象台総務課人事係 TEL: 098-917-7940 (内線515又は516)
ホームページURL <https://www.data.ima.go.jp/okinawa/>

ある日のスケジュール

08:30	始業 全国予報会報・中枢引継ぎを視聴
08:50	観測機器などの障害情報の有無確認
09:10	課内での朝の引継ぎ
09:30	那覇地上気象観測所の週点検
10:30	点検内容を記録
13:00	観測機器の物品整理・管理
14:10	予報中枢打合せ視聴
17:15	終業



主な業務内容

海上における犯罪の取締り、領海警備、海難救助、環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全等の活動に日夜従事しています。



詳しくはこちらから☞



海保HP

採用区分

海上保安官採用試験（初任科）

※受験資格：大学卒業後30歳未満まで

海上保安大学校学生採用試験（本科）

※受験資格：高校卒業後2年未満まで

多様なフィールドで活躍する
海上保安庁の幹部職員を目指す！

海上保安学校学生（特別）採用試験（一般課程のみ）

海上保安学校学生採用試験（一般課程、管制課程、海洋科学課程、航空課程）

※受験資格：高校卒業後12年未満まで

現場第一線で活躍する
各分野の専門職員を目指す！

国家公務員一般職試験（高卒者試験）

※受験資格：高校卒業後2年未満まで

現場をサポートする
一般の行政事務を行う職員を目指す！

SNS



十一管区X



海上保安庁
採用X



海上保安庁
Instagram

募集HP

採用試験に関する
詳細はこちらから



動画

海上保安庁
You Tube



お問合せ先

第十一管区海上保安本部総務部人事課

〒900-8547 那覇市港町2丁目11番地1号

☎098-867-0118



十一管区HP

～地域に根ざした防衛行政を担う～

沖縄防衛局とは？

沖縄防衛局は、全国に8か所ある防衛省の地方支分部局である「地方防衛局」のひとつで、管轄する沖縄県内の自衛隊、在日米軍と地方公共団体や地域住民をつなぐパイプ役という重要な役割を担っています。

主な業務内容は、防衛政策や自衛隊の活動等について理解を得るために、市民の方々や地方公共団体等への情報提供や説明、また、米軍基地の周辺住民の方々と米軍人・軍属及びその家族との信頼関係を築くための日米交流事業の企画・開催（※①）のほか、演習場・飛行場・港湾などの防衛施設の取得・管理・建設工事（※②）・設置運用に伴い生じる損失補償、基地周辺対策（※③）、在日米軍基地で働く従業員の雇用・労務管理、在日米軍人等による事件・事故の損害賠償、自衛隊の装備品等の調達に係る原価監査・監督・検査などを実施しています。

沖縄防衛局は、防衛施設の周辺自治体や地域住民の方々との緊密な関係を構築・発展させ、我が国の平和と安全の一翼を担っています。

※①地元の理解と協力



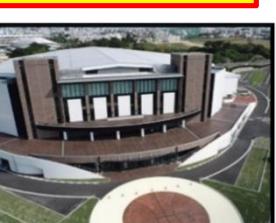
■日米交流事業

※②建設工事



■陸上自衛隊
与那国駐屯地庁舎

■嘉手納基地
大型洗機場



■沖縄アリーナ
(再編推進事業)

※③基地周辺対策

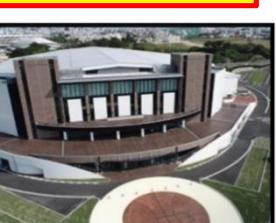


■日米交流事業



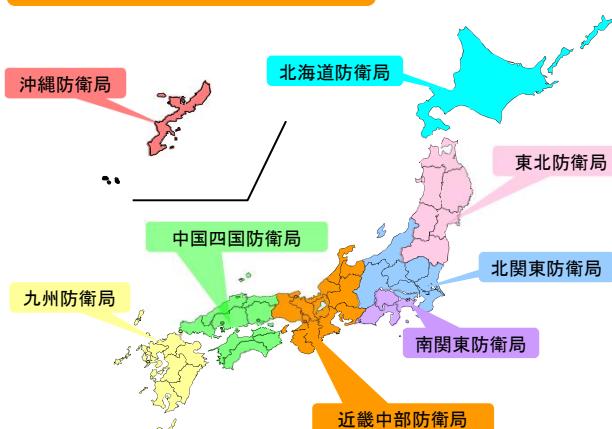
■陸上自衛隊
与那国駐屯地庁舎

■嘉手納基地
大型洗機場

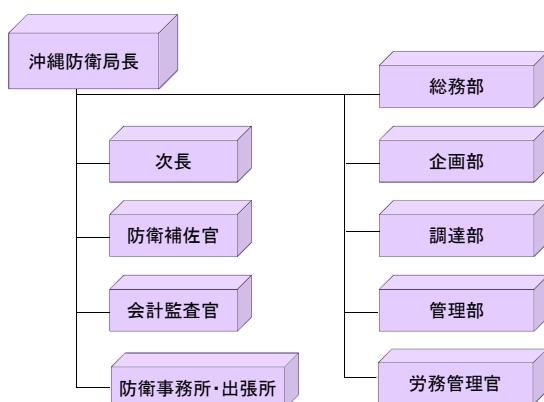


■沖縄アリーナ
(再編推進事業)

地方防衛局の管轄区域



沖縄防衛局の組織



先輩からのひとこと



沖縄防衛局 総務部 総務課
企画係 金城 真希
令和4年入省 一般職大卒（行政）

私が所属する総務課は、組織全体を支える基盤となる部署であり、私は企画係として沖縄防衛局で実施する会議運営や職員の定員に関する業務、政府高官訪沖時における応接業務等を行っています。

これまで携わった業務の中でも、採用前にテレビや新聞などで見ていた場面を目の当たりにした瞬間は何とも言えない迫力と感動があったのを今でも覚えています。そんな緊張感ある場面で責任を果たす事は簡単ではありませんが、その経験は私にとって確かな成長に繋がっています。

組織運営の調整役を担う総務課の業務は、一見すると地味に見えると思いますが、沖縄防衛局に与えられた重要な任務を幅広い視点から学ぶ事が出来ます。

受験を考えている皆さんにとって、自衛隊、在日米軍と地方公共団体等との架け橋となる沖縄防衛局で働く事は、自らの視野を広げる大きな機会でもあります。これから一緒に働く事が出来る日を待ちにしています。

【お問い合わせ先】

防衛省 沖縄防衛局 総務部総務課人事係

〒904-0295

沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9

TEL : (098) 921-8140

沖縄防衛局ホームページ↓

<http://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>